

薬連ハイライト

定時評議員会が開催される!!

平成29年3月22日、平成28年度定時評議員会が、四谷の「スクワール麹町」において開催された。

会長及び国会議員の挨拶

山本会長の挨拶の後、薬剤師国会議員である、松本純国務大臣、とかしきなおみ衆議院議員、逢坂誠二衆議院議員から挨拶をいただいた。

重要事項の報告

石井副会長より重要事項として、「平成29年度厚生労働省予算案・税制改正」、「薬価の毎年改定問題」、「敷地内薬局の誘致問題」、「一部負担金にかかるポイント付与問題」について、ロビー活動等経過説明がなされた。

報告及び議案の説明

尾島副会長から、平成28年度会務並びに事業中間報告が、岩本副会長兼幹事長から、第24回参議院議員通常選挙結果総括報告及び組織内統一候補者選考報告が行われた。次に、尾島副会長から議案として、平成29年度事業計画の件、荻野副会長から、平成29年度責任負担金賦課額に関する件、同年度責任負担金単価及び減免措置に関する件、同年度収入支出予算の件並びに同年度借入金最高限度額の件が説明された。

質疑応答

報告及び議案の説明を受けて質疑応答が行われた。主な質問としては、現在の体制で当選させることができるのか？ 組織強化のためにも勤務薬剤師対策の強化が重要ではないか？ 学生対策も重要ではないか？ 薬科大学へのアプローチも必要ではないか？ 等が挙がり答弁がなされた。

採決

質疑応答後、採決が行われ、報告事項3件、議案5件が賛成多数により全て承認された。

協議

岩本副会長兼幹事長から、次期参議院議員選挙に向けた活動を中心に、今後の日薬連盟の活動について資料を用いて説明がなされ、意見交換が行われた。協議の最後に、組織内統一候補として決定された本田あきこ氏から、候補者に選任されたことを受けての抱負が語られた。会場から割れんばかりの激励の拍手が送られ、閉会となった。



たことを受けての抱負が語られた。会場から割れんばかりの激励の拍手が送られ、閉会となった。

もとゆき便り

偽造医薬品の流通防止

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

国会は3月27日午後の参議院本会議で、一般会計の歳出総額が過去最大の97兆4547億円となる平成29年度予算案が可決、成立し、今後は重要法案の審議に注目が集まります。野党は、大阪の森友学園問題で政府を追及する構えですが、審議の遅れによって国民生活に支障を来すことの無いよう、真摯に取り組んで参りたいと思います。

さて、年明け早々の1月、C型肝炎治療薬「ハーボニー配合錠」の偽造品が流通し、奈良県内の薬局で患者に調剤されたという、耳を疑うようなニュースが飛び込んできました。運良く当該医薬品を処方された患者さんは服用前に異変に気付き、大事に至らなかったことは不幸中の幸いでした。

諸外国には偽造医薬品の流通が社会問題となっており、流通システムの整った我が国では、偽造品はインターネットによる海外からの個人輸入や犯罪グループの関与による不正輸入などで発見されることはあっても、今回のように医薬品の卸売販売業者から保険調剤薬局を通じて偽造品が流通する

というのは前代未聞のことです。

今回の事案で発見された偽造品は、外箱から取り出された裸ボトルで、外箱に封入されているはずの添付文書も添付されていなかったとのこと。既に関与した事業者には行政による処分が科されていますが、許可を受けて生命関連商品を取り扱う事業者が、外箱や添付文書もない明らかに不自然な製品を何の疑いも持たず流通させたことは、決して許されることではありません。

厚労省は「医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会」を設置し、3月29日に第1回の会合が開かれました。4月4日の参議院厚生労働委員会でも指摘させて頂きましたが、国民の不信や医療関係者の不安を解消するためにも、同様な事案が再び発生することのないよう、徹底した流通防止対策の早急な実行を望みたいと思います。同時に薬剤師、薬局の皆さんには、改めて国民の信頼確保に努めて頂くよう、お願いしたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp